

公益財団法人京都市芸術文化協会

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 近藤誠一

2 所在地

京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町 546-2 京都芸術センター内

3 電話番号

075-213-1003

4 ホームページアドレス

<https://www.geibunkyo.jp>

5 設立年月日

昭和56年9月30日

6 基本財産

50,000千円（うち本市出えん金 15,000千円，出えん率 30.0%）

7 事業目的

芸術文化に関する調査研究を行い，芸術文化の分野における創造的活動を助成し，市民文化の普及・向上を図るための各種文化事業を実施し，もって京都市における芸術文化の発展に寄与することを目的とし，あわせて国際文化交流の促進に努めるものとする。

8 業務内容

- (1) 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供
- (2) 各種芸術文化事業の実施及び奨励
- (3) 芸術文化に関する教育及び普及
- (4) 芸術家等の育成及び顕彰
- (5) 芸術文化活動拠点の運営
- (6) 芸術文化に関する国内外との交流
- (7) その他芸術文化の振興を達成するために必要な事業

9 所管部局

文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課(TEL075-366-0033)

10 役員名等

(1) 理事長

近藤誠一

(2) 副理事長

村山明

(3) 専務理事

中谷香

(4) 業務執行理事

建島哲

(5) 理事

石原完二，大木富志，桑原仙溪，茂山あきら，白井進，田中誠二，細尾真生，松尾恵，森川佳昭，砂川敬（文化市民局文化芸術都市推進室長）

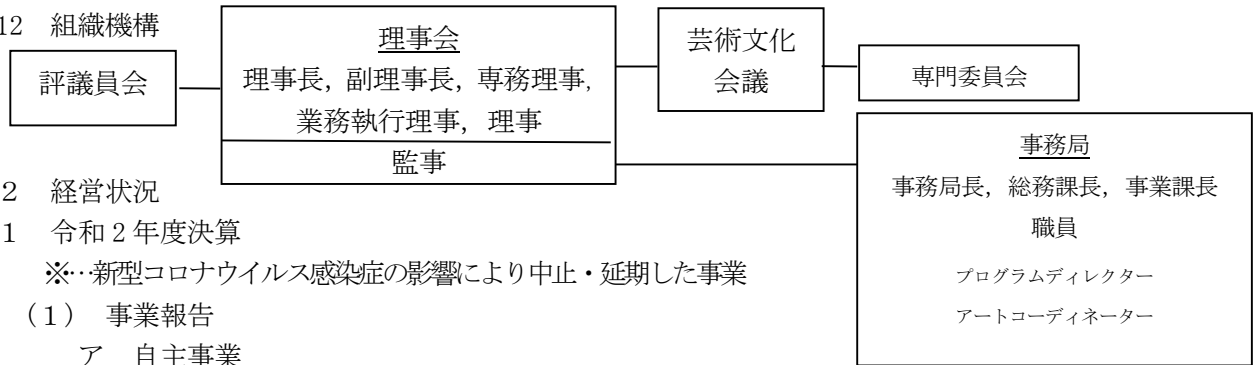
(6) 監事

中路健一，山下聡（文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課事業推進担当課長）

11 常勤職員数

21人（うち本市派遣職員2人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 令和2年度決算

※・新型コロナウイルス感染症の影響により中止・延期した事業

(1) 事業報告

ア 自主事業

- (ア) 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供
 - a 文化誌「藝文京」の発行
 - b 協会ホームページの運営
 - c 中長期ビジョン策定プロジェクト
- (イ) 各種芸術文化事業の実施及び奨励
 - a リレートーク「藝文京」Ⅲ
 - b 京都ビッグ・バンド・フェスティバル※
 - c 各種芸術文化事業の奨励（後援・共催）
- (ウ) 芸術文化に関する教育及び普及
 - a 京都いけばなプレゼンテーション 2020 の開催
 - b 夏休み芸術体験教室・藝文京芸術教室※
- (エ) 芸術家等の育成及び顕彰
 - a 感染拡大防止と文化芸術活動の両立支援補助金
 - b 芸術家等の顕彰（京都市芸術文化協会賞・新人賞）
- (オ) 総会・懇親会※
- (カ) 会員増加に向けた取組

イ 受託事業

- (ア) 市民狂言会
- (イ) 子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出（京都文化芸術プログラム 2020+ 関連事業）
文化芸術授業（ようこそアーティスト）、伝統公演授業（ようこそ和の空間）
- (ウ) アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業
- (エ) 助成関係事業
 - a 京都市助成金等内定者資金融資制度 融資窓口業務
 - b 京都市芸術文化特別奨励制度 募集・審査補助業務※
 - c 文化芸術顕彰制度 表彰業務（文化功労者，芸術新人賞，芸術振興賞）
- (オ) その他
 - a 京都市新規採用職員研修※
 - b 教文伝統芸能シリーズ「能楽なう」※
 - c 京都市自治記念式典オープニングセレモニー
 - d 京都×パリ 京ものアート市場開拓支援事業
 - e 中学生の能楽大連吟～未来～※
 - f 東京 2020 オリンピック聖火リレー・セレブレーション※
 - g 文化庁アーティスト・イン・レジデンス事業オンライン・シンポジウム
 - h 京都市文化芸術活動緊急奨励金
 - i 京都市緊急支援パッケージ
 - j 京都・まちじゅうアートプロジェクト
 - k 京都・花灯路-2020/2021 ※東山花灯路のみ中止

ウ 芸術文化活動拠点施設運営事業（京都芸術センター管理運営事業）

【活動センター機能】

- (ア) 伝統的芸術の継承・創造事業
 - a 明倫茶会
 - b 伝統芸能文化創生プロジェクト
- (イ) 芸術家・芸術関係者育成事業
 - a 京都国際ダンスワークショップフェスティバル 2020※
 - b トラディショナル・シアター・トレーニング 2020※
 - c 京都芸術センター20周年事業
 - d KAC Performing Arts Program 2020
 - e 京都国際舞台芸術祭 2021 SPRING
 - f 関西のグループ展
 - g 「影を刺す光—三嶽伊紗+守屋友樹」展
 - h FOCUS展「手塚愛子」展 ※
 - i 跳ぶ前に聞け！
- (ウ) 先駆的・実験的事業
 - a ニュイ・ブランシュ KYOTO 2020
 - b KYOTO STEAM—世界文化交流祭—2022 prologue
- (エ) 制作・発表支援事業
 - a 制作支援事業（制作室使用者募集）
 - b Co-program 2020
 - c U35 創造支援プログラム事業「KIPPU」
 - d ポートフォリオ作成サポートプログラム

【情報センター機能】

- (オ) 芸術文化情報の収集・発信事業
 - a 図書室の運営
 - b 情報コーナーの運営
 - c 通信紙「京都芸術センター通信」の発行
 - d 京都芸術センターホームページ、SNS
 - e 京都文化芸術オフィシャルサイト<KYOTO ART BOX>
- (カ) 教育普及事業（インターンシップ・プログラム）
- (キ) その他（視察・見学の受入）

【交流センター機能】

- (ク) 国際交流事業
 - a アーティスト・イン・レジデンス
 - b アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業（再掲）
- (ケ) 市民及び芸術家相互の交流事業
 - a 明倫レコード倶楽部
 - b おうちでアート
 - c 明倫ワークショップ※
- (コ) 地域・学術・産業との連携事業
 - a ボランティア・スタッフ
 - b 地域との連携事業（ペトロフ・ピアノコンサート，明倫フェスタ）※
- (サ) ネットワーキング
 - a 京都文化芸術コア・ネットワークの運営
 - b パートナーシップ/ネットワーク

(2) 財務諸表

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	126,056	50,697	75,359
未収会費	170	180	△10
未収金	22,533	17,562	4,971
前払金	100	32	68
貸付金	17,143	16,232	911
仮払金	0	116	△116
流動資産合計	[166,002]	[84,820]	[81,182]
2. 固定資産			
(基本財産)			
定期預金	50,000	50,000	0
基本財産合計	(50,000)	(50,000)	(0)
(特定資産)			
管理運営費積立資産	23,488	23,488	0
芸術文化特別事業積立資産	0	2,818	△2,818
協会設立50周年事業積立資産	500	0	500
芸術文化活動拠点の基盤整備積立資産	14,500	0	14,500
退職給付引当資産	17,604	14,493	3,111
特定資産合計	(56,092)	(40,799)	(15,293)
(その他固定資産)			
什器備品	1,040	82	958
その他固定資産合計	(1,040)	(82)	(958)
固定資産合計	[107,132]	[90,881]	[16,251]
資産合計	273,134	175,700	97,434
II. 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	40,000	40,000	0
未払金	91,831	17,501	74,330
前受金	877	478	400
前受会費	45	25	20
預り金	2,057	2,230	△173
賞与引当金	6,180	5,728	452
	[140,989]	[65,961]	[75,028]
2. 固定負債			
退職給付引当金	17,604	14,493	3,111
固定負債合計	[17,604]	[14,493]	[3,111]
負債合計	158,593	80,454	78,139
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出資金	15,000	15,000	0
寄付金	33,803	33,803	0
指定正味財産合計	[48,803]	[48,803]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(48,803)	(48,803)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[65,738]	[46,443]	[19,294]
(うち基本財産への充当額)	(1,197)	(1,197)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(38,488)	(26,306)	(12,182)
正味財産合計	114,541	95,246	19,294
負債及び正味財産合計	273,134	175,700	97,434

正味財産増減計算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	13	13	0
特定資産運用益	15	7	9
受取入会金収益	40	140	△100
受取会費収益	360	2,615	△2,255
事業収益	214,026	233,977	△19,951
受託料収益	(201,970)	(183,228)	(18,743)
その他収益	(12,056)	(50,750)	(△38,693)
受取補助金等	121,675	21,675	100,000
受取負担金等	30,587	25,113	5,474
受取寄付金	192	170	22
雑収益	4,020	703	3,317
経常収益計	370,928	284,412	86,516
(2) 経常費用			
事業費	339,496	271,084	68,413
管理費	12,137	10,993	1,144
経常費用計	351,634	282,077	69,556
当期経常増減額	19,294	2,335	16,959
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	19,294	2,335	16,959
一般正味財産期首残高	46,443	44,108	2,335
一般正味財産期末残高	65,738	46,443	19,294
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	48,803	48,803	0
指定正味財産期末残高	48,803	48,803	0
III. 正味財産期末残高	114,541	95,246	19,294

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H30 (決算)	R1 (決算)	R2 (決算)
正味財産増減計算書	経常収益	293,509	284,412	370,928
	当期経常増減額	△818	2,335	19,294
	当期正味財産増減額	△818	2,335	19,294
貸借対照表	総資産	192,096	175,700	273,134
	総負債	99,185	80,454	158,593
	正味財産	92,911	95,246	114,541

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H30 (決算)	R1 (決算)	R2 (決算)
委託料	京都芸術センター運営〔指定管理(非公募)〕	130,803	129,390	130,577
	市民狂言会	3,925	3,820	1,600
	京都市芸術文化特別奨励制度	1,043	1,063	171
	京都市文化芸術顕彰制度	1,342	1,617	1,677
	京都市助成金等内定者資金融資制度	379	387	395
	ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業	14,300	14,306	15,667
	京都市新規採用職員研修	509	539	
	アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業		3,909	2,150
	学校教育をはじめ、あらゆる機会を通じた伝統的な文化芸術に触れる取組(ようこそ和の空間伝統公演とくべつ授業)	11,400	11,611	10,731
	中学生の能楽大連吟～未来～		4,000	
	京都市文化芸術活動緊急奨励金			6,000
	京都市緊急支援パッケージ			23,760
	補助金	京都市芸術文化協会事業補助金	24,824	24,824
貸付金	京都市助成金等内定者資金融資制度に係る貸付金	40,000	40,000	40,000
その他	五感で感じる和の文化事業に係る負担金(伝統芸能文化創生プロジェクト)	16,000	15,000	13,000

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<p>令和2年度の経常増減額は19,294千円の大幅な黒字となったが、その要因は新型コロナウイルス関連の緊急支援策等の単年事業の受託や、国からの持続化給付金など、一時的な収入増によるものであり、次年度以降は例年並みの経常増減額になると見込まれる。</p> <p>また、今年度の黒字分については、収支相償の原則に則り、令和3年度にサーバーや業務用パソコンのリース期間満了に伴う設備の新規導入、運営の基盤となる情報システム等を導入・整備するための積立や、協会設立50周年事業に向けた積立等、当協会の公益目的事業に資する経費として計画的に執行する予定としており、公益財団法人として適正な財務管理が行われている。</p>
事業面	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止・延期となった事業もあったが、新型コロナウイルス関連の緊急支援策等の受託や、本市からの補助金の増額分(1億円)を財源に「感染拡大防止と文化芸術活動の両立支援補助金」制度を創設して、感染拡大防止ガイドラインを遵守した文化芸術活動を継続できるよう支援を行った(実績777件)。また、活動支援や活動再開に関する支援策の情報発信と相談に対応する総合相談窓口を新たに開設し、切れ目のない支援を行ったことが評価できる。</p>

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

<p>コロナ禍の中、実施事業への参加者数が落ち込んだが、オンライン参加型の事業を企画するなど、新たな形での文化芸術の魅力を発信している。</p> <p>また、財務面ではコロナ対策事業の受託等により、最終損益は19百万円の黒字を確保するとともに、将来に向けた積立てを計画的に進めているところである。ただし、市からの運営補助金や職員派遣を前提としたものであり、これがなければ、赤字の状態であることに留意する必要がある。</p> <p>京都市では、行財政改革計画に基づき、補助金の見直しや職員削減などの厳しい歳出改革を進めていく予定となっていることを踏まえ、市の財政的・人的関与がなくても(縮小されたとしても)、芸術文化の普及・向上に向けた社会的ニーズに自ら対応できるよう、経費の節減、補助金・寄付金の更なる獲得による自主財源の強化などにより、団体の自主性・自律性を高めていただきたい。</p>
--